

平成 31 年度 演奏学科コース別 一般入試実技等課題

※センター試験利用入試、一般入試、実技特別選抜入試

●作曲コース

クラシックスタイル専修

I. 専門実技：次の①、②のいずれか1つを選択する。

①任意の形式による自作の器楽曲または声楽曲1曲を自筆楽譜として願書に添えて提出する（曲の規模は問わない。声楽曲の歌詞は日本語に限る）。提出された作品を中心に簡単な口述試験を行う（提出物の返却はしない）。

②試験当日与えられたバスまたはソプラノの声部により4声体の和声を作る（90分）。

※答案作成にあたって楽器は使用しない。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律・複旋律・四声体和声

IV. 副科ピアノ：下記の①、②、③のいずれか1つを選択する（暗譜のこと）。

①J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より任意のフーガ1曲。

②J.S. バッハ：インヴェンションとシンフォニアより任意の1曲。

③ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのいずれかのソナタの第1楽章（ただし第1楽章が緩徐楽章のものは除く）。

コンピュータスタイル専修

I. 専門実技：下記の①、および②を課す。

①自分で作曲または編曲した作品の楽譜か録音物、あるいはシーケンスデータ（MIDI ファイル）を願書とともに提出する。編曲の場合には参考にした楽譜を添付すること（提出作品の返却はしない）。

②口述試問：提出された作品に関する簡単な試問を行う。

II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。

III. 聴音：単旋律

●声楽・オペラコース

I. 専門実技：任意の2曲を演奏する（8分以内）。

※伴奏譜に氏名を記入の上、出願時に提出すること。

※ピアノ伴奏は大学側で担当する。

●ミュージカルコース

I. ヴォーカル：任意の1曲を演奏する（3分程度。曲のジャンルは問わない）。

※ピアノ伴奏は大学側で担当する。伴奏譜に氏名を記入の上、出願時に提出すること。

II. 以下の①②③から1つ選択する。

①朗読：任意の詩または台詞を朗読する（1分程度）。

※暗記の必要はない。

※朗読原稿に氏名を記入の上、出願時に提出すること。

②ダンス：内容は自由（2分程度）。

※動きやすい服装で受験すること。

③演技：当日出題された課題を演じる。

●器楽コース

ピアノ専修

- I. 専門実技：下記の①～③を演奏する（暗譜のこと）。当日、時間の都合により一部省略させることがある。
 - ①以下のA、Bから1つ選択する。
 - A. J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集より1曲。
 - B. 下記の作曲家の練習曲集より1曲。
ショパン、シューマン、リスト、ドビュッシー、ラフマニノフ、
スクリャービン、プロコフィエフ、バルトーク
 - ②ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタより任意の1つの楽章。ただし、緩徐楽章を除く。
 - ③自由曲
 - ※複数の作曲家の作品を組み合わせてもよい。
 - ※くり返しはなし。ただし、D.C.、D.S.、8小節以内の短いくり返しを除く。
 - ※出版されている作品に限る。
 - ※ソナタの楽章抜粋、小品集、組曲からの抜粋は認める。変奏曲からの抜粋は認めない。
- II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。
- III. 聴音：単旋律・複旋律・四声体和声

パイプオルガン専修

- I. 専門実技：下記の①、②のいずれか1つを選択し、演奏する。
 - ①パイプオルガンでの受験
 - A. J.S. バッハのオルガン曲（足鍵盤付き）より1曲（暗譜の必要はない）。
 - B. J.S. バッハ：オルガン小曲集 BWV599～644より2曲（暗譜の必要はない）。
 - C. J.S. バッハ以外のオルガン曲（足鍵盤付き）より1曲（暗譜の必要はない）。
 - ※レジストラントについては同伴、または大学側で担当する。
 - ※レジストレーションの時間を事前に与える。
 - ②ピアノでの受験
 - A. J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より任意のプレリュードとフーガを暗譜で演奏する。
 - B. ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのいずれかのソナタを暗譜で演奏する。
- II. 楽典：和声、楽式等作曲法の内容は含まない（30分）。
- III. 聴音：単旋律・複旋律・四声体和声
- IV. 副科ピアノ：任意の一曲（ただし②ピアノでの受験をする場合には、A、Bとの曲目重複は不可）。

電子オルガン専修

- I. 専門実技：下記の①～③を演奏する（暗譜の必要はない）。
 - ①エレクトーン・クラシック曲集 グレード5級、または4・3級（YAMAHA MUSIC FOUNDATION）より任意の1曲を演奏する。
 - ②グレード5～3級表示の独奏曲（出版社は問わない）あるいは自編・自作による独奏曲1曲。
 - ※自編曲・自作曲については、試験当日に楽譜を提示のこと。
 - ③初見演奏（含メロディ変奏）。

弦楽器専修

1. 専門実技：任意の1曲（楽章）を演奏する。なお、使用している楽譜を持参のこと。

参考例：

ヴァイオリン

鈴木鎮一 ヴァイオリン指導曲集
カイザー、クロイツェルのエチュード
など

ヴィオラ

シュターミツ、ホフマイスター
テレマンの協奏曲
など
※ヴィオラはヴァイオリンでの受験が可。

チェロ

鈴木鎮一 チェロ指導曲集
ゴルターマン、ハイドンの協奏曲
など

コントラバス

シマンドル 30 の練習曲
など
※コントラバスは受験の際、本学の楽器を使用する事が可。希望者は事前に申し出ること。

管打楽器専修

1. 専門実技：任意の1曲（楽章）を演奏する。なお、使用している楽譜を持参のこと。

参考例：

フルート

ケーラー 35 の練習曲 作品 33 第 1、2 巻
アンデルセン 24 の練習曲 作品 21
など

オーボエ

ヒンケ オーボエ入門のための基礎練習
ヴィーデマン 45 の練習曲
など

クラリネット

ランスロ 15 のエチュード
ローズ 32 のエチュード
など
※クラリネットが基本であるが、E♭、バス・クラリネットのいずれの楽器でも受験可能である。
ただし入学後はクラリネットを中心にレッスンをを行う。

ファゴット

ワイセンボーン 練習曲 作品 8 第 1、2 巻
ヴィヴァルディ ファゴット協奏曲
など

サクソフォン

ラクール サクソフォンのための 50 の易しく漸新的な練習曲 第 1、2 巻

フェルリング サクソフォンのための 48 の練習曲

など

※アルト・サクソフォンが基本であるがソプラノ、テナー、バリトン・サクソフォンのいずれの楽器でも受験可能である。ただし入学後はアルト・サクソフォンを中心にレッスンをを行う。

ホルン

マキシム・アルフォンス ホルンのための新しい 200 の練習曲集 第 1 巻

コブラッシュ ホルンのための 60 の練習曲集 第 1 巻

など

トランペット

ヘリング トランペットのための 28 の旋律的で技巧的な練習曲

コブラッシュ トランペットのための 60 の練習曲集 第 1 巻

など

トロンボーン(バストロンボーン含む)

ロッシュ メロディアス・エチュード 第 1 巻

コブラッシュ トロンボーンのための 60 の練習曲集 第 1 巻

など

ユーフォニアム

ロッシュ メロディアス・エチュード 第 1 巻

コブラッシュ トロンボーンのための 60 の練習曲集 第 1 巻

など

テューバ

ボルドーニ ベルカント・スタディーズ

コブラッシュ テューバのための 60 の練習曲集 第 1 巻

など

打楽器

ゴールデンバーグ スネア・ドラムのための現代教本

ゴールデンバーグ シロフォン、マリンバ、ヴィブラフォンのための現代教本

など

※打楽器は小太鼓またはマリンバで受験すること。本学の楽器を使用する事が可。
希望者は事前に申し出ること。

平成 31 年度 音楽総合学科コース別 一般入試実技等課題

※センター試験利用入試、一般入試、実技特別選抜入試

●音楽教員養成コース

課題Ⅰ. 歌唱：下記の曲の中から 1 曲を選び、指定された調で演奏する（ピアノ伴奏は大学側で担当する）。

《赤とんぼ》（三木露風作詞、山田耕筰作曲） 変ホ長調 2 番まで

《夏の思い出》（江間章子作詞、中田喜直作曲） 二長調または変ホ長調 1 番のみ

《荒城の月》（土井晩翠作詞、滝廉太郎作曲、山田耕筰編曲） 口短調またはハ短調 1 番のみ

課題Ⅱ. 器楽：下記の A または B のいずれかを選択する。

A. 任意のピアノ曲 1 曲を演奏する。

B. ピアノ以外の楽器で、任意の 1 曲を無伴奏で演奏し、さらに簡易なピアノ曲 1 曲を演奏する。

※暗譜の必要はない。

※場合によっては、曲の途中で演奏を終了してもらうことがある。

※原則として楽器は、演奏学科器楽コースに開設されている楽器とする。

※Bの楽器は原則として各自で持参すること。ただし、大型楽器については事前に

音楽学部事務室 TEL.047-365-1111（代表）に問い合わせること。

※実技特別選抜入試については、入試要項 P.27 参照。

●音楽療法コース

課題Ⅰ. 実技：任意の楽曲を 1 曲演奏する。

※暗譜の必要はない。

※場合によっては、曲の途中で演奏を終了してもらうことがある。

※声乐の場合、ピアノ伴奏は大学側で担当する。伴奏譜に氏名を記入の上、出願時に提出すること。

※原則として楽器は、演奏学科器楽コースに開設されている楽器とする。

※楽器は原則として各自で持参すること。ただし、大型楽器については事前に

音楽学部事務室 TEL.047-365-1111（代表）に問い合わせること。

課題Ⅱ. 小論文：当日指定する課題により、800 字程度の小論文を書く（45 分）。

●音楽指導コース

以下の課題Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから、2 つの課題を選択する。

課題Ⅰ. 歌唱：下記の曲の中から 1 曲を選び、指定された調で演奏する（ピアノ伴奏は大学側で担当する）。

《赤とんぼ》（三木露風作詞、山田耕筰作曲） 変ホ長調 2 番まで

《夏の思い出》（江間章子作詞、中田喜直作曲） 二長調または変ホ長調 1 番のみ

《荒城の月》（土井晩翠作詞、滝廉太郎作曲、山田耕筰編曲） 口短調またはハ短調 1 番のみ

課題Ⅱ. 器楽：任意の器楽曲（練習曲を含む）1 曲を無伴奏で演奏する。

※暗譜の必要はない。

※場合によっては、曲の途中で演奏を終了してもらうことがある。

※原則として楽器は、演奏学科器楽コースに開設されている楽器とする。

※楽器は原則として各自で持参すること。ただし、大型楽器については事前に

音楽学部事務室 TEL.047-365-1111（代表）に問い合わせること。

課題Ⅲ. 小論文：当日指定する課題により、800 字以内の小論文を書く（60 分）。

※実技特別選抜入試については、入試要項 P.27 参照。